

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
平成30年10月31日（水）
- 2 確認箇所
サブドレン他浄化装置
- 3 確認項目
サブドレン他浄化装置の吸着塔構成の変更状況

4 確認結果の概要

サブドレン他浄化装置はA系、B系の2系列あり、1系列あたり4塔の前処理フィルタ及び5塔の吸着塔などから構成されており、これまでは、5塔の吸着塔は、セシウム・ストロンチウム同時吸着塔（以下「Cs・Sr吸着塔」という。）が3塔、アンチモン吸着塔（以下「Sb吸着塔」という。）及び重金属塔がそれぞれ1塔で構成されているが、平成30年9月に処理対象水の水質に応じて吸着塔を変更可能とする運用に見直され、9月19日から、重金属塔を除外し、Cs・Sr吸着塔を4塔に増塔する塔構成の変更が運用開始されたことから、サブドレン他浄化装置の現況を確認した。

なお、東京電力は、今回除外する重金属塔が除去対象としている重金属核種（コバルト、銀等）は、サブドレン他浄化設備運用開始（平成27年9月）以降、重金属塔通水前の水から検出されておらず、同塔を除外しても排水に影響を与えるものではなく、Cs・Sr吸着塔を1塔増やすことにより、セシウム、ストロンチウム除去の性能向上が図れるとともに、重金属塔を除外することにより、廃棄物の低減効果が得られるとしている。

- ・ B系の吸着塔5塔のうち、5塔目にあった重金属塔が除外されて、Cs・Sr吸着塔が5塔目に増塔されていた。（写真1）

東京電力に確認したところ、吸着塔出入口の弁操作により、吸着塔1→吸着塔2→吸着塔3→吸着塔5→吸着塔4の順に通水されるとのことであった。

- ・ A系の吸着塔は、Cs・Sr吸着塔が3塔、Sb吸着塔及び重金属塔が1塔であり塔構成に変更はなかった。（写真2）



（写真1）

サブドレン他浄化装置B系の状況
（建屋内の南西側から撮影）

吸着塔1～3：Cs・Sr吸着塔

吸着塔4：Sb吸着塔

吸着塔5：Cs・Sr吸着塔



(写真2)
サブドレン他浄化装置A系の状況
(建屋内の北西側から撮影)
吸着塔 1～3 : Cs・Sr 吸着塔
吸着塔 4 : Sb 吸着塔
吸着塔 5 : 重金属塔

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。